

Japanese Utility Model Laid-Open No. 4-126878 (JP-U-4-126878)

Laid-Open Date: November 18, 1992

Application No. 3-41907

Application Date: May 9, 1991

Applicants: General K.K. & Sony Chemical K.K.

Title of the Invention: Tool for Transferring Coating Film

Japanese Utility Model Laid-Open No. 4-126878 (JP-U-4-126878)

Laid-Open Date: November 18, 1992

Application No. 3-41907

Application Date: May 9, 1991

Applicants: General K.K. & Sony Chemical K.K.

Title of the Invention: Tool for Transferring Coating Film

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-126878

(43) 公開日 平成4年(1992)11月18日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 4 1 M 5/30

B 6 5 H 35/07

E 9037-3F

8305-2H

B 4 1 M 5/26

J

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平3-41907

(22) 出願日 平成3年(1991)5月9日

(71) 出願人 000108306

ゼネラル株式会社

大阪府大阪市城東区中央2丁目14番37号

(71) 出願人 000108410

ソニーケミカル株式会社

東京都中央区日本橋室町1丁目6番3号

(72) 考案者 合田 弘幸

大阪府豊中市曽根南町3丁目12番3号

(72) 考案者 須賀 邦夫

東京都中央区日本橋室町1丁目6番3号

ソニーケミカル株式会社内

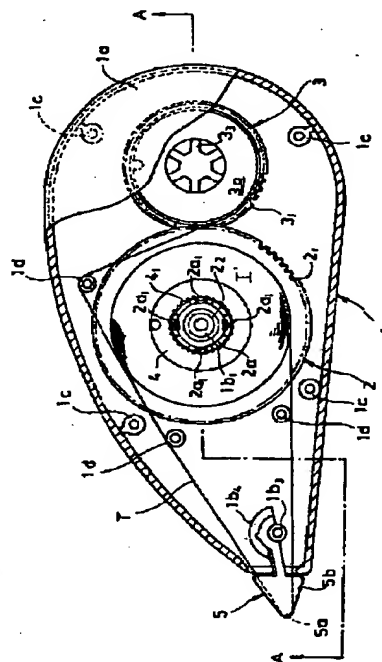
(74) 代理人 弁理士 藤田 時彦 (外1名)

(54) 【考案の名称】 塗布膜転写具

(57) 【要約】

【目的】 修正インキ等の塗布膜の転写用テープロールを取付けた供給リールと転写済テープを巻取る巻取リールとをギヤ連結して装備した塗布膜転写具で、供給リールとテープロールの巻かれた巻芯とをスリップ結合させる箇所の部品点数と組立工数を減らしコストダウンをはかる。

【構成】 マガジン1内に供給リール2と巻取リール3とをギヤ連結して配設する。供給リール2の中央に同心円上に係合爪2a<sub>1</sub>を備えた連結筒部2aを供給リールのギヤ部2<sub>1</sub>と一体的に設ける。リング状の巻芯4を連結筒部2aに嵌装して巻芯4の上部内周面の凹凸部4<sub>1</sub>と係合爪2a<sub>1</sub>とを係合するようにして巻芯4の離脱を防止するとともに供給リール2と巻芯4との間に回転抵抗を与える。テープTはテープロールT'から繰り出しマガジン先端の加圧ヘッド5を巻回して巻取リール3に取付ける。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】修正インキ、粘着剤等の塗布膜を転写可能にフィルム等のベース表面に積層した所定巾の転写用テープのロールを取付けた供給リールと転写済みの該テープを巻取る巻取リールとをマガジン内に回転可能に装備するとともに、マガジン先端部にテープの中方向の加圧部を有する加圧ヘッドを設けて、供給リールのテープロールから加圧ヘッドを巻回して巻取リールに取付けたテープを被転写物への押圧移動により塗布膜を転写して巻取リールに巻取るようにした塗布膜転写具において、供給リールと巻取リールとをギヤ連結して配設するとともに、供給リールのテープロールを装着するための巻芯に、そのリング状の上部内周面に所定ピッチの凹凸部を各凸部の頂部が位置するごとく形成する一方、供給リールの側壁を形成するギヤの軸線上に、該側壁と一体的に、同心円上に複数の係合爪をばね性を持たせて備えた連結筒部を形成し、巻芯を上方より連結筒部に嵌装連結するとき、該連結筒部の係合爪が上記巻芯の所定ピッチの凹部に嵌入して巻芯の上方への離脱を防止するとともに、供給リールと係合する巻芯が相互に回転時、所定の回転抵抗を保持するようにしたことを特徴とする塗布膜転写具。

【請求項2】供給リールのギヤと巻取リールのギヤとの回転比を、巻取リールの巻芯と供給リールの巻芯にそれぞれ巻かれたテープ部分の外周部の巻取側の供給側に対する周速比が、塗布膜の転写によるテープ移動の初期には110%で、塗布膜の費消の終る末期には300%以下とする

2

ごとく設定したことを特徴とする請求項1記載の塗布膜転写具。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例である転写具の一部を切欠いた平面図、

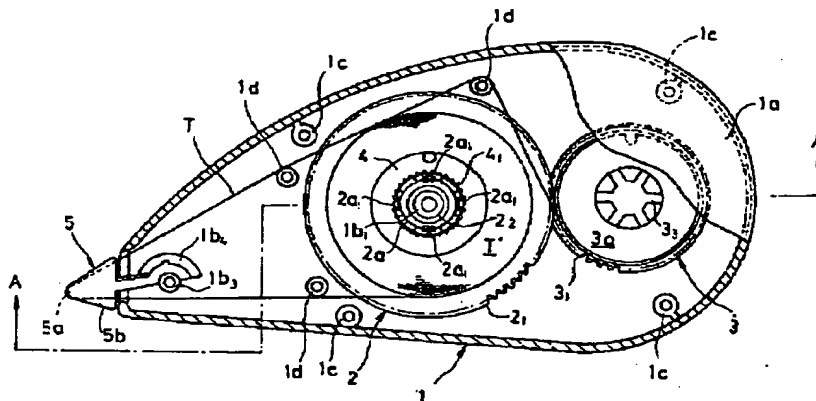
【図2】第1図のA-A線による要部の断面を示す側面図、

【図3】供給リールの連結筒部と巻芯との結合関係を示す斜視図である。

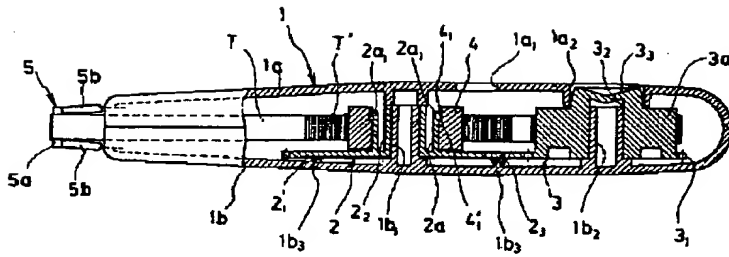
## 【符号の説明】

- 1 マガジン本体
- 1a 表側マガジン部材
- 1b 裏側マガジン部材
- 2 供給リール
- 2<sub>1</sub> 供給リールのギヤ部
- 2a 連結筒部
- 2a<sub>1</sub> 係合爪
- 3 巻取リール
- 3a 巻取リールの巻芯部
- 3<sub>1</sub> 巻取リールのギヤ部
- 4 供給リール用巻芯
- 4<sub>1</sub> 凹凸部
- 4<sub>1</sub>' 凹部の底面
- 5 加圧ヘッド
- 5a 加圧部
- T 転写用テープ（修正用テープ）
- T' テープロール

【図1】



【図2】



【図3】

